

北九州まちづくり応援団株式会社

I 法人の概要（令和3年4月1日現在）

- 1 所在地 北九州市小倉北区船場町2-10
- 2 設立年月日 平成17年6月27日
- 3 代表者 代表取締役社長 白川 敬
- 4 資本金 32,000千円
- 5 北九州市の出資金 1,000千円（出資の割合 3.125%）
- 6 役員員数

	人 数			
	合 計	うち本市からの派遣	うち本市退職者	うちその他
役 員	6人	0人	0人	6人
常 勤	0人	0人	0人	0人
非常勤	6人	0人	0人	6人
職 員	39人	0人	0人	39人

II 令和2年度事業実績

第16期(令和2年度)は、①指定管理事業、②共通駐車券事業、③賑わいイベント事務局事業に絞り、北九州市の重要な観光資源である「小倉城／小倉城庭園」を中心に、行政や周辺の商店街などと連携し賑わいづくり・活性化に取り組み、新型コロナウイルス感染拡大防止に対する方策や休業要請等、不測の事態に対応し収益黒字化を図った。

指定管理事業(小倉城・小倉城庭園)は、コロナ禍、4月1日～6月18日における閉館、開館中の各種感染防止対策を履行の上、入館者(小倉城及び小倉城庭園の合計)は前年比52%(北九州の魅力再発見パスポートキャンペーンが無ければ28%程度)と大幅減となる中、コロナ感染(不可抗力)影響に関する指定管理料等の補填(3,920万円)、雇用調整助成金の受給(720万円)及び経費削減(▲1,340万円)等の施策を実施することにより収支均衡となった。

本部関連事業において「共通駐車券事業」および「賑わいイベント事務局事業」についても、コロナ禍管理強化を図り、黒字化することができた。

以上の事業活動の結果、売上高は2億3,666万円(前年比95.8%)ながら、経費は1億8,571万円(前年比85.9%)で経常利益179万円となり、前年比3,124万円増の大幅な改善となった。

Ⅲ 令和2年度決算

1 貸借対照表

令和3年3月31日現在（単位：円）

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【 流 動 資 産 】	【88,235,952】	【 流 動 負 債 】	【46,021,802】
現 金	4,208,744	未 払 金	1,120,096
預 金	41,496,240	未 払 費 用	41,214,697
商 品	2,231,501	未 払 法 人 税 等	208,500
貯 蔵 品	801,400	預 り 金	1,711,109
仮 払 金	27,200	未 払 消 費 税	1,767,400
未 収 入 金	39,379,522	【 固 定 負 債 】	【31,816,000】
立 替 金	91,345	長 期 借 入 金	31,616,000
【 固 定 資 産 】	【4,838,760】	預 り 敷 金	200,000
（有形固定資産）	（4,732,760）	負 債 合 計	77,837,802
建 物 附 属 設 備	3,322,760		
工 具 器 具 備 品	1,410,000		
（投資その他の資産）	（106,000）		
出 資 金	10,000	純 資 産 の 部	
敷 金	96,000	【 株 主 資 本 】	【15,236,910】
		資 本 金	32,000,000
		（ 利 益 剰 余 金 ）	（▲16,763,090）
		そ の 他 利 益 剰 余 金	▲16,763,090
		繰 越 利 益 剰 余 金	▲16,763,090
		純 資 産 合 計	15,236,910
資 産 合 計	93,074,712	負 債 ・ 純 資 産 合 計	93,074,712

2 損益計算書

自 令和2年4月1日
至 令和3年3月31日 (単位：円)

科 目		金 額	
【 売 上 高 】			
事業収入金		50,248,258	
小倉城関連売上		186,412,647	236,660,905
【 売 上 原 価 】			
期首棚卸高		3,317,531	
小倉城関連売上原価		11,729,522	
仕 入 高		44,942,736	
＊ ＊ 合 計 ＊ ＊		59,989,789	
期末棚卸高		▲2,231,501	57,758,288
	売上総利益金額		178,902,617
【販売費及び一般管理費】			185,709,945
	営業損失金額		▲6,807,328
【 営 業 外 収 益 】			
受取利息		457	
雑 収 入		10,343,378	10,343,835
【 営 業 外 費 用 】			
支払利息割引料		145,294	
雑 損 失		1,600,000	1,745,294
	経常利益金額		1,791,213
	税引前当期純利益金額		1,791,213
	法人税、住民税及び事業税		208,569
	当期純利益金額		1,582,644

IV 令和3年度事業計画

令和3年度は、前年度に引き続き①指定管理事業、②共通駐車券事業、③賑わいイベント事務局事業の3本柱で利益を生み出し、それによって北九州市の重要な観光資源である小倉城を中心に、行政や周辺の商店街などと連携して賑わいづくり・活性化に取り組む。

指定管理事業により、小倉城及び小倉城庭園の3年間運営管理受託の3年目として、未だ続く新型コロナウイルス感染症の影響がある中、本年10月の「2021世界体操・新体操選手権北九州大会」開催など集客チャンスを的確にとらえ、感染防止策を徹底しながら経費削減に努め事業に取り組んでいく。

「共通駐車券事業」については、引き続き新規活用店舗や利用駐車場の拡充に努めるとともに、より効果的な事業PRを行う。

「賑わいイベント事務局事業」については、冬の小倉を彩る「小倉イルミネーション実行委員会」事務局を引き続き受託し取り組んでいく。

事業全体として、令和3年度の売上高は2億2,676万円を見込んでおり、経常利益については298万円の予算を計上している。

V 役員名簿

令和3年7月1日現在

役職名	氏名	備考
代表取締役社長	白川敬	北九州商工会議所 副会頭
取締役	二郎丸聡夫	北九州商工会議所 理事・事務局長
取締役	小松良明	小倉中央商業連合会 理事長
取締役	田中規雄	北九州市 小倉北区長
取締役	船津章裕	北九州まちづくり応援団(株)
監査役	安田堅太郎	西鉄バス北九州(株) 代表取締役社長